

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2025

3

No.243



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あります 飯南町

特集① 町制20周年記念式典 ～笑顔と誇りを未来につなぐ～

特集② 「保育士になりたい」を支えます



「私たちがつくれたよ」と誇らしげ
(交流センターとんぼらにしめ縄を贈呈)



町民歌を合唱



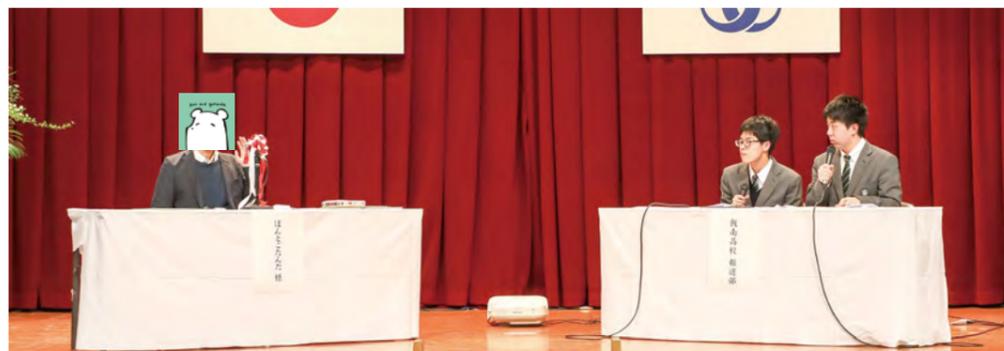
功労者表彰受賞者の皆さん



丸山島根県知事



飯南町町制施行20周年記念式典



記念講演は住民だけでなく、町外からも聴講にいられました(本人の意向によりイラストで編集しています)



今後のまちの発展を祈念して万歳三唱

笑顔と誇りを未来へつなぐ

本町は合併時から、「小さな田舎からの『生命地域』宣言」を基本理念に、いきいきと生命満ち溢れる郷土の実現に向けたまちづくりを進めてきました。
この式典を次の10年への1歩目として、笑顔と誇りを未来へつないでいきます。

平成17年1月1日に、雪の降りしきる中誕生した飯南町は、20周年の節目を迎えました。
これを記念し、2月15日に赤名農村環境改善センターを会場に記念式典を開催。多くのご来賓など200名を超える方々に出席いただきました。
開式にあたり、塚原町長は歴代の関係者の皆様に敬意を表するとともに、「人口減少が進行している中で、定住支援や子育て環境づくり、地域資源のブランド化などに力を入れ、町政を進めてきた」と式辞を述べました。
式典では、丸山達也島根県知事や山根成二島根県議会議員(議長代理)など8名の方からご祝辞をいただいた後、本町の発展に貢献された個人・団体の皆様の功労者表彰を行い、町長から表彰状を贈呈しました(9ページに関連記事)。
式典の最後には、文化功労として表彰されたキウイジノの皆さんと共に出席者全員で町民歌を合唱。万歳三唱し、閉式しました。
式典終了後には、本町出身で漫画家の「ぼんとごたんだ」さんによる記念講演を開催。住民の皆さんからいただいた質問をもとに「漫画家という夢に向かって努力したこと」「仕事のやりがいや飯南町での思い出」などを話されました。講演では、飯南高校報道部の澤田煌明さんと長島圭汰さんがインタビュアーを務め、ぼんとごたんださんとの軽快なやり取りで会場を盛り上げました。

「保育士になりたい」を支えます



「だあるまさんが こおるんだ！」
桜ヶ台保育所から、児童たちの元気な声が聞こえてきます――。

町内には保育所が4カ所。人口減少とともに児童数が減少していますが、同時に保育士も不足しています。
この現状を打開するために、本町には保育士を目指し、大学や専門学校に通う学生を応援する制度があります。この制度を利用して、保育士になることを目指して飯南町を出て学び、再びこのまちで就職した女性を紹介します。

「子どもたちの声が聞こえるまち」を守る仕事

本町は、2025年2月宝島社発行の「第13回住みたい田舎ベストランキング」の「子育て世代部門」で、第1位に選ばれました(人口5千人未満のまち)。

保育所の保育料や、18歳までの医療費が無料であること、また、妊婦や子育て中の保護者が交流し、相談ができる場「ほっと。café」の運営など、自然豊かな飯南町で成長していく子どもたちに寄り添う、幅広い子育て支援策を行っています。

一方で、保育する側の体制には課題が残ります。近年では、さまざまな職種において人材不足が叫ばれるなか、保育士不足も例外ではありません。国の定める保育士の配置基準を満たしているとしても、児童の発達に応じて、より丁寧な関わりが必要なために、保育士を基準より多く配置しなければならなくなり、保



飯南町で保育士になるには

職員採用試験については、飯南町社会福祉協議会のホームページでお知らせします(毎年6月頃)。

中途採用や保育補助は、定期的に募集しています。未経験の人でも、ブランクのある人でも、新しい仲間を歓迎します。



飯南町社会福祉協議会の採用ページ

保育士を目指す学生を応援する制度があります
※要件により、返還の義務が発生します

町の支援制度

■飯南町医療及び福祉従事者確保対策助成金
入学時のみ一時金 50万円以内
月額5万円以内(最大4年間)

■飯南町医療及び福祉従事者確保対策就業支度金 30万円
※飯南町に住所を有する場合さらに20万円を加算

県の支援制度

■保育士修学資金貸付事業
月額5万円以内(原則として2年間)

■保育士修学資金(家賃)貸付事業
月額4万円以内

■保育士に対する就職準備金貸付事業
一回限り40万円以内

「飯南町医療及び福祉従事者確保対策助成金条例」については、3月の自治区文書で回覧していますので、ご覧ください。

育士不足が生じています。

子どもたちの声が聞こえるまちを維持していくために、保育士の確保が必要です。

保育士を目指す学生を応援する制度があります

保育分野では、全国的にも人材不足が課題となっています。国は、給与額の引き上げといった処遇改善施策を行うなど、保育士が働きやすい環境をつくるため、さまざまな改革に取り組んでいます。

本町では、保育士の確保や充実を図ることを目的に「飯南町医療及び福祉従事者確保対策助成金条例」を定めています。これは、医療や福祉、保育分野を大学や専門学校で学び、町内の医療機関や福祉施設に勤務する意思のある学生へ行う助成制度。最大4年の間、月額5万円以内を無利子で貸し付けることができ、卒業後、町内の保育所へ就職して4年以上勤務すれば、返済が免除となります。

現在、保育分野で、この制度を利用して助成を受けている学生は2人。在学中に助成を受け、町内の保育所に勤めているのは4人です。

令和5年3月に短期大学を卒業し、

桜ヶ台保育所に勤めている藤原日向さんは、この制度を利用することで「アルバイトをたくさん減り、勉強に集中できました」と話します。

保育士として働くには、保育士の国家資格を取得することが必要です。専門的な分野であり、学費がかかることから、修学資金を貸し付けることで、進学・就職のハードルを下げることもつながっているようです。

子どもたちが楽しく過ごせる保育がしたい

「妹が生まれてから小さい子のお世話をするのが楽しかった。とにかく子どもが好きで、中学生の時からずっと保育士に憧れていました」と言う藤原さんは、今、夢だった保育士として活躍しています。

保育所では、児童が行う遊びや活動などは保育士が考え、児童の成長スピードや個性に合わせて指導計画を立てます。連絡帳の記入やデスクワークなども重要な業務です。

この3月で就職して2年になる藤原さん。日々、子どもたちを相手にす



藤原 日向さん

るかたわら、行う業務も多岐にわたります。それでも「子どもたちのいる空間にいれば、エネルギーをもらえて元気になる」と満面の笑顔。保育士でなかったら得られない経験です。「大変なこともあるけど、育ったまちに貢献できるのはうれしい」と真剣に仕事に向かっています。

本町は町民の皆さんの暮らしをサポートするため、充実した子育て支援策を整えています。子どもたちの声が聞こえるまちをつくることと同じくらい、地域の子どもたちや保護者を支える保育士は、子育てしやすい環境をつくるために大切な存在ではないでしょうか。

地域を支える仕事をを目指す人を、町は支援します。



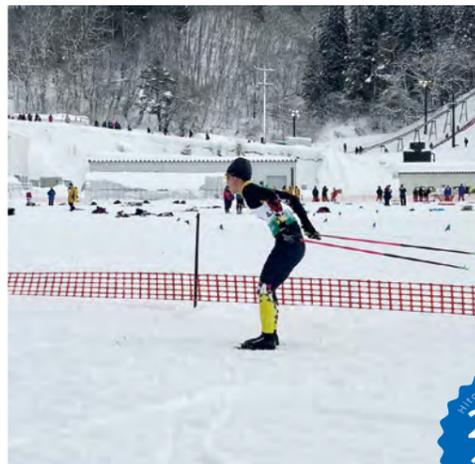
島根県を代表して全国へ あきた鹿角国スポに出場

秋田県鹿角市で開催された「第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」に、島根県代表として飯南高校生など6人が出場しました。

アルペン競技少年の部には、和久利昊生さん(3年)と梅木咲季さん(1年)が出場。クロスカン トリー競技少年の部には、吉川真太さん(3年)と山戸拓郎さん(3年)が出場し、これまで重ねてきた練習の成果を存分に発揮しました。

クロスカン トリー成年の部には、加藤郁海さん(来島公民館)が出場。本町出身の福岡竜ノ介さんがふるさと選手として出場しました。

2月28日には、高校生と加藤さんが来庁し、町長や教育長に結果を報告。和久利さんは「皆さんの支援もあり出場できました。今回の悔しさをバネに、成年の部でも出場できるようにこれからも頑張りたいです」と話していました。



3年連続で出場した吉川さん。力を出し切りました

2.13
~16日



それぞれが大会の感想や今後の目標を話しました



ロボットに教わりながら勉強ができる 学習用A-Iロボットを試験導入

古河産業株式会社と本町との共同事業として、赤名小学校でA-Iロボットを活用した実証的な取組が始まりました。

このロボットは、児童の学習意欲の向上や、教員の指導負担の軽減などを目的として試験導入されました。赤名小学校では、特別支援学級に約1カ月間設置され、実際に授業で操作して効果を検証する予定です。

実際に操作した児童は「過去の勉強もできるし、自分からこれをやろうと進んで勉強できると思います」と興味津々の様子でした。



答えだけでなく、問いの考え方や解き方のコツも教えます

2.20
木



地域の安全のために スノーヘルパー除雪活動

赤名地区の雪かきボランティア「スノーヘルパー」による地域の除雪活動が行われました。

活動には約20人が集まり、赤名連坦地内の高齢者宅の玄関先や、歩道を中心に除雪。地域住民が安心して出掛けられるように、除雪機やスコップを使いきれいに除雪していました。

スノーヘルパーは平成30年1月に赤名地区在住の男性で結成し、活動しています。現在は、同地区在住の女性で「レディースヘルパー」も結成し、活動しています。



お揃いの防寒服で出動

2.9日
16日



社会の形成者を育成するため 青少年育成協議会研修会

来島交流センターで、飯南町青少年育成協議会が主催の研修会が開催されました。

静岡県地域づくりアドバイザーの小田圭介氏が、「何にもしない合宿」による地域づくりの土台づくりをテーマに講演。今後の地域・社会を形成していく子どもたちの成長には、地域住民との普段からの関わりが大切。「体験」ではなく「出会い」を重視した取組を話しました。

町内外から参加した約50人は、自らの普段の行動や各団体での取組を振り返りながら、真剣に耳を傾けていました。



お互いの意見を交換する時間もあり、あっと言う間の時間に

2.22
土



老いとききあう 終活支援講座

町立図書館が主催する「終活支援講座」が初めて開催されました。

今回の講師は、地域包括支援センターの介護支援専門員の穴戸陽子さん。認知症との付き合い方や自らの望む最後に向けての終活の意義を話されました。その後、参加者は、参加理由を共有したり、家族との話し合い方を穴戸さんに質問したりしていました。

参加者からは「今後の人生を考えるきっかけになりました。家族と話し合ってみたかったです」との声が聞かれました。



メモを取るなど真剣に耳を傾けていました

2.27
木



初めてでも楽しく 押し寿司といちご大福づくり

来島交流センターで、来島公民館主催の「ひなまつり行事」が行われました。

飯南町食生活改善推進協議会(食改)の協力のもと、昔から祭りや特別な日のごちそうとして作られてきた押し寿司を作りしました。押し型にごはんや具を詰めてぎゅっと押し出したら、玉子や桜でんぶで飾り付け。手のひらサイズのかわいらしい押し寿司が完成しました。

当日の参加者は総勢31人。白玉粉で作るいちご大福も一緒に全員で食事し、にぎやかな会となりました。



食改のお料理名人に教わりながら

3.2
日



何歳でも楽しめる 飯南町ダーツの旅!

赤名農村環境改善センターでNPO法人里山コミッションが主催する「飯南町ダーツの旅!」が開催されました。

この企画はダーツで交流を深めることや、少子化で団体スポーツが難しくなる中、個人でも楽しめるスポーツに触れること、高齢者の軽運動にもつなげることが目的。小学生から80代までが参加し、点数を競いながら楽しみました。

企画した同法人のスタッフは「今後も町内でダーツを広めて、交流できる場を作りたいです」と話していました。



真ん中(ブル)にあたると歓声が聞こえます

3.2
日

令和6年度

飯南町功労者表彰

おめでとうございます

本町の発展に貢献された個人・団体の皆様を表彰しました



加藤 博樹さん
(地域貢献功労)

飯南高校の魅力向上のため設置された「飯南高校キラリ!ドリームアップ推進協議会」とその後継の協議会の会長を11年間務められました。人脈や知識経験をもとに、飯南高校の魅力化と生徒確保に大きく貢献されました。



野見宿禰赤名相撲甚句会
(社会教育功労)

平成23年2月に発足以降、町内の福祉施設への慰問、東京・大阪・広島の県人会への出演や全国相撲甚句大会への出演など80回以上の公演を行いました。平成30年には、第11回全国相撲甚句大会を本町に誘致するなど、地域振興に大きく貢献されました。



キュージーヌ
(文化功労)

平成13年9月に創設され、これまで「雲南合唱フェスティバル」「来島文化祭」などのイベントに出演され、全員の気持ちが一つに集まり奏でるハーモニーの素晴らしさを感じさせると共に、福祉施設訪問なども行い、本町の芸術文化向上に大きく貢献されました。



澤田 秀樹さん
(消防功労)

昭和49年8月の消防団入団以来、約50年の永きに渡り消防活動に徹底し、団長として8年間、卓越した指導力と統率力のもとに消防体制の整備・拡充に取り組まれました。新入団員、機能別団員や女性団員の勧誘に努めるなど、消防団の発展に大きく貢献されました。



飯南町猟友会
(農林業功労)

平成17年4月に発足以降、有害鳥獣に対する高い知識と技術を駆使し、20年に渡り農林業被害防止に大きく貢献されました。ツキノワグマ出没時など危険な現場では最前線に立ち、町民の安全と安心に大きく貢献されました。



特定非営利活動法人あかぎ福祉会
(民生功労)

平成15年12月に法人化されて以降、居宅で生活することが困難な高齢者に対して、認知症対応型共同生活支援や在宅の虚弱高齢者等の通所による在宅支援サービスを行い、介護福祉事業へ大きく貢献されました。



飯南牡丹組
(商工業功労)

平成23年6月に商工会女性部を中心に結成され、ばたん祭などの町内イベントの他、町外へのイベントにも積極的に参加され、女性が輝く社会づくりを体現されると共に、高齢者福祉施設への慰問などにも熱心に取り組み、地域振興にも大きく貢献されました。



飯南ラボフォーラム

大学生の視点で地域の将来を考える

島根大学飯南ラボが主催する「第7回飯南ラボフォーラム」が開催されました。島根大学の作野教授と学生6人が、6月と10月に実施した小田真木地区でのフィールドワークをもとに研究・調査結果を発表。学生からの今後のまちづくりへのアイデアを聞くだけでなく、参加者も学生と今後のまちづくりについて考えました。本町と地域づくりを共同研究する「飯南ラボ」は、これまで来島地区と赤名地区で研究を実施。本町の地域運営の課題を明らかにし、地域資源の活用や人材育成の手法を模索しています。



飯南町出身の本間さん(2年生)も発表されました



次世代のリーダーから学ぶ福祉のまちづくり

高橋椿太郎さん講演会

小地域福祉活動を進める23地区の代表を対象にした講演会が、飯南町社会福祉協議会の主催で開催されました。登壇したのは、コミュニティデザインLabo代表の高橋椿太郎さん。言語障害や半盲といった自身の経験をもとに、現在は鳥取大学で学びながら地域の居場所づくり活動に取り組んでいます。当日は高校生を含む38人が参加し、福祉について考えるきっかけとなりました。高橋さんは「お互いを知ることで良い出会いになる。福祉や社会教育の分野にもつながります」と話していました。



自分のことを教え合う「名刺交換会」で参加者の話を聞く高橋さん(左奥)



志津見湖の魅力が伝わる写真を

志津見湖フォトコンテスト

東三瓶フラワリーブイベント実行委員会主催の「第13回志津見湖フォトコンテスト」の審査会が開催され、62点の応募の中から、最優秀賞1点、部門賞3点、入選15点選ばれました。志津見ダムや東三瓶フラワリーブを写した応募作品は、6月のポピー祭で展示し、入賞者の表彰を行う予定です。入賞作品は町ホームページに掲載しています。



【最優秀賞】「錦秋」藤江松男



【人物・イベント部門賞】「なかよし」後藤孝司



【ファミリー部門賞】「笑顔満開」上田和夫



【風景部門賞】「秋の空と秋萩」勝部博行



町ホームページ

頓原基幹支所 ☎72-0311

月日	曜日	開設場所
4月10日	木	来島交流センター
5月9日	金	さつき会館
6月10日	火	飯南町役場
7月10日	木	保健福祉センター
8月8日	金	来島交流センター
9月10日	水	さつき会館
10月10日	金	飯南町役場
11月10日	月	保健福祉センター
12月10日	水	来島交流センター
1月9日	金	さつき会館
2月10日	火	飯南町役場
3月10日	火	保健福祉センター

※変更になる場合がありますので、文字放送でご確認ください。

●開設日時・場所

●相談員
朽木博文さん(畑田)

総務大臣が委嘱した民間有識者が行政相談委員として、毎月1回行政相談所を開設しています。住民の皆さんの身近な相談相手として、行政の仕事に関する苦情、意見、要望などの相談を受け付け、関係行政機関に対し改善の申入れを行うなどして、その解決の促進を図っています。

令和7年度も
行政相談員に相談を

令和7年度 主な年間行事の紹介

日程は変更することがあります。あらかじめ広報誌行事予定、文字放送、町ホームページなどでご確認ください。

- 5月
- 10日(土) 衣掛山・武名ヶ平山ハイキング(赤名)
 - 11日(日) ぼたんまつり
 - 15日(木) 小学校陸上大会
 - 21日(水) 小学校修学旅行(～22日)
 - 30日(金) ハイブリッドウインドオーケストラコンサート

- 6月
- 1日(日) 町防災訓練
 - 1日(日) 人権学習+α(谷)
 - 8日(日) ポピー祭
 - 18日(水) 頓原中学校区小中学校合同音楽会
 - 19日(木) 赤来中学校区小中学校合同音楽会
 - 未定 6月議会定例会

- 7月
- 18日(金) 小中学校終業式
 - 21日(月・祝) 飯南ヒルクライム2025
 - 25日(金) 公民館5館共催事業

- 8月
- 9日(土) みんなの広場夏祭り
 - 15日(金) 飯南町二十歳のつどい
 - 19日(火) 公民館5館共催三瓶へ行こう
 - 22日(金) 飯南町秋季畜産共進会
 - 27日(水) 中学校始業式
 - 28日(木) 小学校始業式(頓原・志々・来島)
 - 28日(木) 飯南高鵬雲祭(～30日(土))
 - 未定 志々公民館まつり

- 9月
- 1日(月) 赤名小始業式
 - 13日(土) 中学校体育祭
 - 20日(土) 小学校運動会(頓原・来島)
 - 20日(土) 志々地区合同体育大会
 - 25日(木) 赤名小運動会
 - 27日(土) みんきじカーニバル
 - 28日(日) 赤名町民体育大会
 - 未定 9月議会定例会

- 10月
- 5日(日) 第19回 銀山街道ウォーキング
 - 12日(日) コスモス祭
 - 15日(水) 小学校宿泊研修(～17日)
 - 26日(日) 赤来中カルチャーフェスタ
 - 未定 頓原公民館まつり
 - 未定 飯南町グラウンドゴルフ大会
 - 未定 健康にい～にゃん相談会

- 11月
- 1日(土) 頓原中文化祭
 - 3日(月・祝) 来島地区文化祭
 - 7日(金) 赤名小学習発表日
 - 8日(土) 小学校学習発表会(頓原・志々・来島)
 - 12日(水) 中学校修学旅行(～14日)

- 12月
- 25日(木) 小中学校終業式
 - 未定 12月議会定例会

- 1月
- 1日(木・祝) 元旦マラソン(頓原・志々)
 - 8日(木) 小中学校始業式
 - 11日(日) 消防出初式
 - 24日(土) 飯南町スキー大会
 - 29日(木) 小学校一日入学

- 2月
- 7日(土) 中学校新入生説明会

- 3月
- 1日(日) ひな祭り事業(来島)
 - 1日(日) 飯南高卒業式
 - 7日(土) 中学校卒業式
 - 19日(木) 小学校卒業式
 - 24日(火) 小中学校修了式
 - 未定 3月議会定例会
 - 未定 飯南ラボフォーラム

角田院長に感謝状

2月8日(土)



出雲での贈呈式で丸山県知事(左)と

自治医科大を卒業後、中山間地域や離島などへき地医療の充実と発展に貢献したとして、飯南病院の角田院長に島根県から感謝状が贈られました。
感謝状を贈られたのは、同大卒業後に県内で地域医療に携わる医師32人。角田院長は本町をはじめ、中山間地域やへき地の医療機関などに20年以上勤務。角田院長は「偉大な先輩方や仲間と共に授与され光栄です。今後も、地域医療に貢献できるように精進していきたいと思えます」と話していました。

特別職の報酬についての答申

2月12日(水)



小野会長(右)から町長に答申書

飯南町特別職報酬等審議会の小野彰会長から「特別職の報酬等の額について」の答申を受けました。
今回の答申は、町長からの諮問により審議されたもの。昨年行われた議会活性化検討特別委員会で検討された町議会議員の報酬改定を審議し、まとめられました。2月17日には、町長から町議会の早稲議長に答申結果を報告しました。
今後、町議会では改選後の8月に報酬改定が行われます。

冬季防災訓練を開催

2月16日(日)

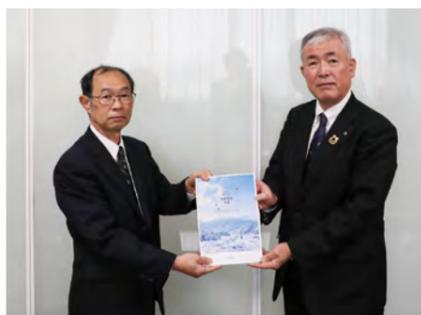


30人以上が参加し、協力しながら防災グッズを組み立てます

谷地区を対象に、出前講座として冬季防災訓練を開催しました。
今回の訓練は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震を踏まえ、冬季の地震を想定した訓練。各世帯から谷笑楽校へ避難した地域住民は、寒い体育館での避難所体験として、ダンボールベッドや仮設トイレの組み立て等を体験。体験後は、中山間地域研究センターの東主任研究員の防災講話や各地区での危険箇所等の共有を行いました。
今後も各地区での出前講座等を実施し、町民の皆さんの防災意識向上を図ります。

総合振興計画答申

2月18日(火)



令和5年9月から約一年半をかけて策定

総合振興計画策定委員会の石橋洋司委員長から「第3次総合振興計画」と「第3期総合戦略」の答申を受けました。
本計画は、町政の総合的かつ長期的な指針で、まちの目指すべき姿とその実現のために取り組むべきことを定める最上位計画。令和7年度からの10年間を期間としています。今後はこの計画をもとに、次世代が飯南町での幸せを感じられる持続可能な地域を作るため、各施策に取り組みます。
各世帯には4月以降に概要版を配布予定です。

6 職員手当の状況 令和6年4月1日現在

[1] 期末・勤勉手当

区分	飯南町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.175月	0.975月	1.225月	1.025月
12月期	1.225月	1.025月	1.275月	1.075月
計	2.4月	2.0月	2.5月	2.1月
職制上の段階などによる加算措置	役職加算5~10%		役職加算5~20% 管理職加算10~25%	

[3] 住居手当

区分	内容	金額
貸家居住者	月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給	上限27,000円

[4] 通勤手当

区分	内容	金額
自家用車等利用者	2km以上通勤する職員に支給、最大25kmまで	2,000円~25,000円

7 特別職等の報酬等の状況 令和6年4月1日現在

区分	給料月額等
給料	町長 730,000円
	副町長 620,000円
	教育長 560,000円
報酬	議長 298,000円
	副議長 246,000円
	委員長 215,000円
	議員 205,000円
期末手当	町長
	副町長
	教育長
	議長
	副議長
	議員
令和6年度支給割合	
	6月期 1.65月
	12月期 1.75月
	計 3.4月

[2] 扶養手当

内容	飯南町	国
配偶者	6,500円	同左
子	10,000円	
その他の扶養親族	6,500円	
16~22歳の子1人について加算する額	5,000円	

[5] 退職手当

区分	飯南町		国	
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.66950月	24.5868750月	同左	
勤続25年	28.03950月	33.270750月		
勤続35年	39.75750月	47.70900月		
最高限度額	47.70900月	47.70900月		

8 部門別職員数の状況 令和6年4月1日現在

部門	区分	職員数(人)		対前年増減数(人)
		R5年度	R6年度	
一般行政部門	議会	1	1	
	総務	30	33	3
	税務	4	4	
	農林水産	8	9	1
	商工	3	3	
	土木	8	7	△1
	小計	54	57	3
福祉関係	民生	20	17	△3
	衛生	8	8	
	小計	28	25	△3
特別行政	教育	6	6	
	小計	6	6	
公営企業等会計部門	病院	53	54	1
	水道	2	2	
	下水道	1	1	
	その他	4	4	
	小計	60	61	1
合計		148	149	1
		[169]	[169]	

※職員数は一般職に属する職員数。【 】内は、条約定数の合計



飯南町職員の給与は、民間給与との調査に基づく人事院や県人事委員会の勧告と、他の地方公共団体との均衡を考慮しながら、町議会の議決を経て条例で定められています。町職員の給与などを、次のとおり公表します。

1 人件費の状況 [普通会計決算]

区分	住民基本台帳人口 R5年度末	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費比率 (B/A)	(参考) R4年度人件費比率
R5年度	4,392人	90億7,477万円	1億2,523万円	10億25万円	11.0%	11.6%

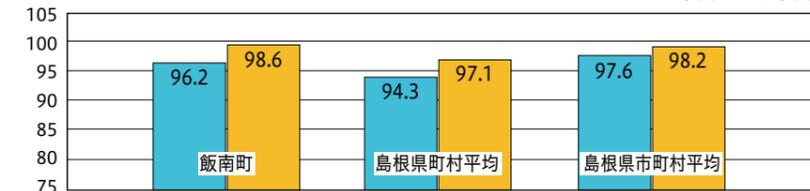
※人件費には、一般職と特別職(町長、副町長、教育長、町議会議員、嘱託職員、各種審議会の委員等)に支給される給料、報酬等を含む。実質収支とは、歳入総額から歳出総額を差し引いた決算額から、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額

2 職員給与費の状況 [普通会計決算]

区分	職員数 (A)	給与費			一人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	
R5年度	88人	3億3,539万円	6,012万円	1億2,838万円	595万円

※特別会計(国民健康保険事業会計、病院事業会計等、簡易水道事業会計、下水道事業会計)を除いたもの。職員手当とは、扶養手当、通勤手当、時間外手当、管理職手当などの諸手当で、退職手当負担金は含まない

3 ラスパイレス指数の状況



※ラスパイレス指数とは、国家公務員基準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数。

4 職員の平均給料月額および平均年齢の状況 令和6年4月1日現在

職種	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	322,460円	41歳9月
技能労務職	280,030円	59歳9月

5 職員の初任給の状況 令和6年4月1日現在

区分	飯南町	国	
一般行政職	大学卒	220,983円	220,000円
	高校卒	188,840円	188,000円
技能労務職	高校卒	186,530円	

企業版ふるさと納税 企業紹介

●山陰開発コンサルタント(株) 代表取締役 陶山 勤 寄附額150万円

昭和37年に松江市に創立。令和2年2月には、本町に営業所を開設し、地域に密着した建設コンサルタントとして、道路改良工事や災害復旧工事など、速やかに対応する。

道路・河川・上下水道など国及び地方公共団体の技術的パートナーとして、また地域に密着した総合建設コンサルタントとして社会資本整備の一翼を担う企業。

常に技術の向上・研究を行い、建設コンサルタントとしての社会的責任を果たしている。



2月6日に陶山代表取締役(右)に感謝状を贈呈



同社ホームページ

Jクレジット購入 企業紹介

本町は、町有林の整備を進める中で、間伐により整備された二酸化炭素の吸収量をクレジット化し、企業・団体へ販売を行っています。

今年度2月末時点で、Jクレジットを購入していただいた企業を紹介いたします。

- 企業名※購入順
- ・奥野産業(同)(飯南町)
 - ・(株)常松土建(雲南市)
 - ・雲南建設(株)(雲南市)
 - ・雲南道路サービス(株)(雲南市)
 - ・(株)来島牧場(飯南町)
 - ・森島建設(株)(飯南町)
 - ・フォレストバリュー(株)(伊丹市)
- 購入の申込等の詳細は本町ホームページでご確認ください。

問合せ 産業振興課 76-2214



町ホームページ

healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

**飯南病院
便り**

かぜや気道感染後の長引く咳にご注意を



飯南病院
医長
原田 愛子

今年は寒波の影響で雪が続きましたが、ようやく春の訪れを感じる季節になりました。この冬、飯南町ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行し、多くの方が罹患されたことと思います。診療の中で、発熱や喉の痛み、鼻水といった症状が改善した後も、「咳だけがなかなか治らない」という方が多くいらっしゃいました。このような方は多くは、「感染後咳嗽」と呼ばれ、風邪や気道感染の後に咳が続くものでした。特に他の病気が原因ではなく、画像検査などにも異常はなく、通常は8週間以内に自然と直ることがほとんどです。特効薬はないものの、時間とともに回復することが期待できます。

ただし、ほかの病気でもかぜや気道感染の後に咳だけが長く続きます。別の病気が隠れている可能性もあるため、3週間以上咳が続く場合は、一度医療機関を受診することをお勧めします。特に高齢の方は、

ウイルス感染で抵抗力が低下し、2次的に細菌性肺炎を発症することがあります。いったん熱が下がった後に再び発熱したり、痰や咳が悪化したりした場合は、早めの受診を検討してください。

今後も気道感染症は私たちの生活に影響を与え続けると考えられます。手洗いやマスクの着用、体調が悪いときの外出を控えるなど、基本的な予防策を継続していきましょう。

※私事ですが、2025年4月より他の病院へ転勤することとなりました。短い間でしたが、地域の皆様には大変お世話になりました。これからも皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

ポイント

- かぜや気道感染の後に咳だけが残る場合があることを知っておく
- 3週間以上咳が続くときは受診を検討
- ご高齢の方でいったん熱が下がった後に再び発熱したり、痰や咳が悪化したりした場合は受診を検討

**保健福祉センター
便り**

「花粉症」の季節。自分にできる予防や対策を。

今4人に1人が「花粉症」と言われています。花粉症は「季節性アレルギー性鼻炎」で、体内に侵入した花粉に対して引き起こされるアレルギー反応です。花粉症予防は、極力花粉に接しないことが大切です。

すぐにできる対策

- 外出時のマスクや眼鏡、帽子の着用
- 外出後のうがい、洗顔など

同じ生活をしていても、花粉症になる人、ならない人がいます。昨年まで何ともなかったのに、急に発症する人もいます。また、年によって症状の軽い年、重い年があります。



花粉症を悪化させるNG習慣

- 1 睡眠不足、夜更かし
- 2 オーバーワーク
- 3 ストレスをためる
- 4 アルコール、たばこ
アルコールは血管を拡張させるので症状を悪化させる。たばこの煙は鼻の粘膜への刺激となる。
- 5 湯船につからず、入浴をシャワーですます
自律神経が乱れる生活習慣を送ると、花粉症を発症したり、悪化したりする原因になります。

春は進級、卒業、入学、就職など、自分や周りの環境が変わり、気持ちが焦ったり、いつもより無理をしようとする季節です。自分の容量を知って、無理をしないようにすることが必要です。花粉症に気をつけながら、春を感じ、外出を楽しみたいですね。

広島広域都市圏通信

広島広域都市圏に参画し、もうすぐ1年が経過します。今月は令和6年度に取り組んだ主な連携事業を紹介します。少しずつ連携した取組が広がっています。

情報発信

- り〜ぶら(広島広域都市圏イベント情報紙)への掲載
町内イベント等を計3回掲載しました。
- 広島市広報番組「元就。二百万一心!(中国放送)」で放送
飯南町大しめなわ創作館の紹介を行いました。
『元就。二百万一心!』はYouTubeで配信中
- マツダスタジアムJR側得点表示板への掲示
町内で開催するイベント等を年4回掲示しました。
- ふるさとの魅力発見ツアーの開催
広島市を発着点として、飯南町と川本町を巡る日帰りバスツアーを、11月1日に開催し、17名の参加がありました。



公共交通

- 貸切バスや電車を利用した圏域内交流事業への運賃助成事業
志々自治区連絡協議会、上来島自治会が活用されました。

移住定住

- ひろしま広域都市圏移住フェア2024(東京都)に参加
9月7日に圏域内の23自治体が一堂に会し開催しました。

神楽振興

- 神楽門前湯治村(安芸高田市)の「ひろしまね神楽デー」での公演
11月4日に飯南神楽団が、飯南町の伝説を神楽化した「程原入道」を上演しました。



職員研修

- 圏域内28自治体の職員と合同研修
本町からも職員が出席し、今年度は「観光」をテーマに検討を重ねました。令和7年7月に広島広域都市圏協議会で最終報告を行います。

みんなで作る! 笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

特別編 地域おこし協力隊退任あいさつ



3月をもって、地域おこし協力隊の任期を終える永瀬友真です。4年間、飯南高校の魅力化コーディネーターとして活動してきました。多くの皆さんに学校活動にご協力いただき、ありがとうございました。

「高校魅力化」という仕事は、成果が分かりにくいです。生徒募集や探究学習、地域活動に携わってきましたが、どれだけ生徒たちが魅力的な高校だと感じたかは分かりません。ですが、今後卒業して出会う人に、自分の出身地や飯南高校の話の胸を張って語ってくれたらうれしく思います。

退任後も飯南町に残ります。在任中から続けていたサツマイモ栽培と個人事業が軸となりますが、自分らしく、楽しいことや面白いことを見つけながら取り組めたらと思います。今後ともよろしくお願いたします。



求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864 (役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

Table with job listings including (福)友愛会, 看護職員(正社員), 介護職員(正社員), 介護職員, 調理員, シーツ交換.

Table for ふうま歯科医院 listing 歯科衛生士(正社員).

Table for (株)いいなん listing バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業.

Table for (株)一福 listing ホール業務全般.

Table for (株)後藤建設 listing 現場技術員(正社員), 建築施工管理技術者(正社員), 土木施工管理技術者(正社員).

Table for 飯石森林組合 listing 舞茸生産補助員.

Table for (有)頓原ランドリー listing 衣類クリーニングの仕上げ・受付.

Table for 日本郵便(株)来島・頓原郵便局 listing 郵便業務(郵便物の集配), 窓口業務.

Table for JA全農Aコープ(株)Aコープエルシー店 listing 商品づくりまたは補充・レジ等.

Table for JA全農Aコープ(株)Aコープきじま店 listing 店舗業務.

Table for JA全農Aコープ(株)Aコープあかな店 listing 店舗業務.

Table for 株式会社ポウストフル・ファーマー listing ホール係、調理補助.

Table for 飯南町地域づくり協同組合 listing 農業・製造業・サービス業等.

Table for 放課後子ども教室(教育委員会) listing 放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り.

問合せ 農業委員会 ☎76-2214



町ホームページ

Table with 4 columns: 区分, 細区分, 金額(円), 備考. Lists various agricultural fees like 農作業賃金, 育苗料金, etc.

令和7年度農作業標準賃金・作業標準料金. 表は目安の金額です。作業条件等で、双方協議して決定してください。

消費者トラブルは相談を. 近年、消費者トラブルは巧妙化・複雑化しています。県内でもインターネット通販の「定期購入」トラブルの相談が続いています。

国民年金保険料 学生納付特例. 令和6年度に、学生納付特例制度により保険料納付を猶予されて...

国民年金保険料 産前産後期間は免除されます. 対象 国民年金第1号被保険者の人(自営業や農林漁業、無職の人など)。

令和7年3月分(4月納付分)からの保険料率をお知らせします. 健康保険料率 9.92% ▶ 9.94%, 介護保険料率 1.60% ▶ 1.59%.

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

大阪・阿倍野にて
森林セラピーのPR



皆さん「しまことアカデミー」ってご存じですか?「しまことアカデミー」とは、島根のひと・地域・暮らしに関心をもち、つながること、自分と地域をもっと楽しく、豊かにしていきたいと考える県内外のひとを対象に、2012年から毎年開催している「ソーシャル人材育成講座」です。今回はこの講座OGのお2人にお誘いいただき、森林セラピーのPRに行ってきました。

大阪・阿倍野のノスタルジックな商店街を舞台に「五感でほぐす、わたしたちの島根」と題してお届けしました。主催者は大田や奥出雲、安来や飯南を訪れており、都会から見た島根の魅力を来場者に伝えるイベントでした。

事前予約制でしたが、飯南町からは森林セラピーオブションの「森の香り袋づくり」を体験いただきました。都会の皆さんにはスギやヒノキの枝葉だけでも貴重なようで、余りも持つて帰られる方もいました。(大雪の中採った甲斐があります)

島根の穏やかな時間の流れに惚れ込んだお2人の島根愛はとても素敵で、県外にもこんな熱い想いの方たちがいる事を知り、とても心強くなりました。



飯南高校卒業生へ
「くろもじくゆり」寄贈

飯南高校生は必ず1度は森林セラピーを体験してくれています。そんな生徒たちも3月1日に無事卒業式を迎えました。飯南高校は町外出身者の割合も多く、卒業後は地元に戻ったり、進学・就職などさまざまなライフステージに進まれます。これから始まる新生活の中で辛い事、苦しい事もきっとあるでしょう。そんな時、自然豊かな飯南町の森の香りが、共に学んだ仲間の事や飯南町をほんのちよっと思いで出すアイテムになればうれしく思います。そしていつの日か、飯南町にぜひ帰ってきていただきたいと思いますね。

短歌

頓原公民館短歌教室

二月詠草



宮島の小鹿なでたき幼子はずいぞ触れず手は伸ばしつ
塾帰り車中の子とのこの会話冷凍したまま解凍すまい
大寒に積雪ゆるめど眠る田は白さ一面春まだ遠し
初場所の優勝かかる大一番知らず知らずにヤグラを掴む
暖冬か睦月過ぎしや露の臺降らない雪に想いを込めて
青空を吸い込むやうに深呼吸吸いぎ雪道へ犬と飛び出す
雨ならば狐の嫁入り雪ならば午後の陽射しは畳に届く
人影も人声もなき日曜日冬の陽差し温ぬくと照らす

石川 隆
大野 順子
奥田 博昭
景山 牧栄
景山 稔
鳥田 勝信
塩田美代子
千葉トミエ

俳句

琴峯華句会 二月の作品から



春待ちて君子蘭の芽慈しむ
残る雪玉ねぎ肥料撒けぬま
薄日射し六花に影のひとつづつ
逃げ込みし小鳥隠して藪椿

田部智津子
土池 博子
朽木 豊子
松平富美子

卵割る黄味の立ちたる余寒かな
孤高なる寒満月に照らさるる
裏山に荒き風音寒波来る

八嶋 敏江
山崎智恵美
八嶋 昭男

お名前	親族	地区
新生児	届出人	地区
波多野みことちゃん	悟	(下赤名)
すこやかに	2月届出分	
片岡 千鳥様(91)	典	子(敷波)
本間 利充様(93)	慎	久(川東)
高橋 辰枝様(96)	弘	秋(下来島)
小田 春雄様(89)	雅	生(寺沢)
伊藤 澄江様(89)	厚	志(角井)
三嶋 啓治様(91)	康	広(佐見)
安部 凱人様(84)	易	子(赤名)
本多 房代様(54)	経	宏(谷)
難波 唯子様(99)	俊	司(谷)
小野 祝様(74)	敬	史(下赤名)
深石 千鶴様(58)	達	也(奥畑)
松下 清之様(87)	彰	則(谷)

今日の人権標語

令和5年度
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

話し合い
心の力
つけたいなあ

赤名小学校 3年 水谷 春陽さん
家族名 千恵子さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

頓原小3年生の5人が、志々小3年生と共同で製作したしめ縄を交流センターとんばらに贈呈しました。

代表で挨拶をした渡邊楓菜さんは「僕たちが作ったしめ縄をたくさんの人に見てもらい、頓原の魅力を伝えていきたいです」と話しました。



こんにちは
中山間地域研究センターです。

県民の森へ行こう!

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



県民の森でスノーシューハイク

2月15日に県民の森ふれあい講座「スノーシューで雪の森を楽しむ」を開催しました。節分荒れによる大雪で、和恵県有林は1メートルを超える雪が積もりました。この雪の中をスノーシュー(雪の深い場所でも沈み込まず歩ける道具)を使い、高低差200メートルを登って下りました。



目的地の標高773.7メートル地点からの琴引山稜線

当日は、これまでの荒れた天気から一変し、風もなく穏やかな天気となりました。距離4キロ、2時間半のコースを歩き景色を楽しみました。



目的地の標高773.7メートル地点からは、青空の下、正面に和恵県有林や琴引山の稜線が広がり、感動的な眺めでした。



下りは作業道を通り、令和4年度から取り組んでいる主伐エリアを眺めながら、100年杉林を歩いて「もりのす」前へ下山しました。

昼食後、空き缶を使ったポップコーン作り、杉丸太のスウェーデントーチで焼きマシュマロを楽しみ、ほっと温まるひとときを過ごしました。



令和7年度も、1年を通して「県民の森」の魅力を感じていただけるよう、登山や木工教室など、様々な講座を企画しています。ご参加をお待ちしております。

ふれあい講座レポート
これまでに開催した「ふれあい講座」をコラムでご紹介しています



2025
4

まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 🌸文化・体育 💧その他

1 火	各保育所入所式
2 水	
3 木	
4 金	
5 土	
6 日	
7 月	
8 火	小中学校・飯南高始業式・着任式
9 水	小中学校・飯南高入学式 ほっと。Café(来島保健センター) オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
10 木	
11 金	
12 土	刈払機・安全作業ポイントとメンテナンス講習会(赤名改善センター)
13 日	空き缶等散在性ごみ収集活動
14 月	
15 火	オレンジカフェ(赤名福島邸) 野菜づくり講習会(赤名改善センター)
16 水	ほっと。Café(来島保健センター)
17 木	乳児健診・育児相談(保健福祉センター)
18 金	
19 土	来島小授業公開日
20 日	ストーリーテリング(中央図書館) しまね家庭の日
21 月	
22 火	
23 水	ほっと。Café(来島保健センター)
24 木	
25 金	頓原小・赤名小授業公開日 オレンジカフェ(つかが工房) はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
26 土	
27 日	タケノコ掘り体験(来島交流センター)
28 月	
29 火 昭和の日	
30 水	賀田城新緑ウォーキング 軽自動車税納期限 国民健康保険料納期限 後期高齢者医療保険納期限



土地家屋調査士の資格取得のため勉強する森岡さん。今の会社に就職したのは偶然なのだそう。「仕事を探していた際に、求人情報でパッと目に入ったから」と振り返ります。「自分の知らない職業だからこそ気になったのかな」と笑顔で話していました(写真は北海道を訪れた際)

「大学を辞めるまで野球しかしてこなくて、野球にしか本気で取り組んだこともなかったです」と話すのは森岡春太さん(24歳)です。現在、土地家屋調査の個人事務所に勤務しながら、土地家屋調査士の資格取得に向け、多忙な日々を送っています。

「**ルーツ** いいなん 44」
このまちに住んでいようと、なかりょうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

自分にはできないことを

森岡さんは野球をするために大学に進学するも、実力や体力の差を痛感。野球を辞めることを決意し、大学も中退します。「野球のために大学に入學しましたし、野球を辞めるなら大学も辞めるべきと思いました」と話します。挫折ともいえる経験でしたが、森岡さん自身はポジティブに捉えていたと言います。「本気で野球に取り組んだことは良い経験ですし、上には上がいることも分かり、世界は広いと感じました」と笑顔で話します。



もりおか はると
森岡 春太

上來島出身。赤来中、飯南高卒業後、大学に進学。中退後、Uターンし大田市の石見ワイナリーに就職。接客業に従事する。3年前から大阪で土地家屋調査の会社に勤務し、日々勉強中

行くことを決めた森岡さん。これまで聞いたこともない「土地家屋調査」の会社に就職します。「人と違うことをしてみたかったんです」と森岡さん。そこからは日々仕事に追われ、勉強の毎日なのだそう。「ようやく慣れてきましたけど、資格も取得したいし、仕事に全部を注ぎ込んでいきます」と続けます。

島根を離れて、仕事でも私生活でも新たな価値観に触れる日々。「毎日大変ですけど、毎日が充実しているのか、1日1日が早いです」と笑顔で話す森岡さん。今後も挑戦を続け、自分しかできないことを探します。

【いいしクリーンセンター】☎72-9217

令和7年4月のごみ収集日は令和7年2月の自治区文書で配布した「令和7年度ごみの収集カレンダー」をご確認ください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市・飯南町事務組合ホームページ



し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	8日(火) 10日(木)
赤名	19日(土) 23日(水)
来島	15日(火) 17日(木)

[クリーン(株)] ☎72-1401(頓原地域)
[クリーン(株)] ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を必ずお守りください。

町の人口 4,312人(前月比 - 25人) 世帯数1,961戸 R7.3.1 現在



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ